

平成23年度 広島市立五日市南中学校 総合的な学習の時間 全体計画



生徒の実態
 学習に対して意欲を持っている生徒が多い。
 課題に対して、じっくり考えたり人の意見を聞いて参考したりするなどの「思考・判断」の面でも伸びている。しかし、伝えるといった「表現する」ことに課題がある。

地域の実態
 校区内に五日市南小学校、楽々園小学校の2校がある。お互いの距離も近く、研修会等での交流も進め、小小中が地域と共に子どもを育てていこうとする取り組みを進めている。

小学校との連携
 ・2つの小学校の生活科と総合的な学習の時間に何を行っているのか情報交流を通して知り、小中一貫性のあるカリキュラム作りを行う。
2つの小学校で行っていること
 ・海老山
 ・八幡川
 ・町のすてきを探そう
 ・町探検
 ・町のゴミについて調べよう
 ・地域や人とのかかわり
 ・海の環境問題
 ・食について考えよう
 ・伝えよう私の思い
 ・平和学習
 ・世界の国々を知ろう

学校教育目標
「学ぶことと生きることの2つが1つになる生徒の育成」
 ～地域の未来を生むチャイムのない学校へ向けた開発的生徒指導を通して～

総合的な学習の時間の目標
 横断的・総合的な学習や探求的な学習を自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探求活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

五日市南中学校の目標
 ・自分の生活と地域や社会の事象とのかかわりについて、探究的な学習を通して、自分の興味・関心に基づいた課題を設定する。
 ・設定した課題を自らの力で調べ、よりよく解決するため、情報を収集・選択・活用するなかで、体験活動を仲間とともに積極的に行う。
 ・多角的なものの考え方を身に付け、自分の考えをまとめ、発表する。
 ・これまでの学習を通して、新たな課題を見つけ、さらなる探究を自ら行うなど、自分の生き方につなげる

教師・保護者の願い
 小・中9年間を通して育てたい生徒像は
 ・自らを大切にし、ともに高めあう生徒
 ・自分の考えを自分の言葉で相手にわかりやすく伝えることができる生徒
 ・言葉が正しく使える生徒
 ・小論文が書ける生徒
 である。

言語・数理運用科との関連
言語・数理運用科を軸とした能力と内容の系統表から
 〈付けたい力〉
 ・情報を取り出す力
 ・思考・判断する力
 ・表現する力

育てようとする資質や能力及び態度	
① 学習方法に関すること	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中にある疑問や関心に基づいて自ら課題を見つける。 解決の方法や手順を考え、見通しを持って計画を立てる。 体験活動をしたり調べたりしながら、必要な情報を収集する。 視点を定めて情報を分析・整理する。 相手や目的・意図に応じて自分の考えや意見、発見したことをまとめ、表現する。 自分の生活や生き方と結びつけて物事をとらえる見方・考え方ができる。 明らかになった考えや意見から新たな課題を見つける。
② 自分自身に関すること	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動を通して、自分の考えや意見を深める。 学んだことを現在及び将来の自己の生き方につなげて考える。
③ 他者や社会との関わりに関すること	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや意見を他者と交換し合い、自らの考えや意見を更新したり、協同して実践に移したりする。 課題の解決に向けて、社会活動に参画する。

学年	第1学年	第2学年	第3学年
单元名	「夢への第一歩」	「社会の中の自分」	「地域に貢献しよう」
学習対象	<ul style="list-style-type: none"> 家族 地域の人 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の事業所の方 特技や個性を生かして働いている人 可能性を追求して活躍している人 	<ul style="list-style-type: none"> 現代の社会的な課題や技術開発に取り組んでいる人
学習事項	<ul style="list-style-type: none"> 自分を見つめ、自分のよさを知る 働くことの意義を学ぶ 将来の自分を考えることで、今の自分を振り返る 	<ul style="list-style-type: none"> 将来の夢や目標の実現を目指す努力 働くことの意義を学ぶ 協同的な取り組みや人間関係力 	<ul style="list-style-type: none"> 社会の一員としての自覚を持ち、人や社会のためにできることを考え活動する

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
<ul style="list-style-type: none"> 学年単位で活動を進める。 1年 18時間 2年 50時間 3年 35時間 各学年とも、講座内発表会や全体発表会で自分たちの探究したことを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒に課題意識を持たせるために意図的にビデオや写真の活用や話をしてもらおう場を設定する。 体験活動を重視する。 協同的な学習活動を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間を円滑に行うために総合の担当者は連絡調整を行う。 生徒の様々な興味・関心等のグループ編成を学級を超えて行う。 パソコンルーム・図書館を充実させパソコンの効果的な運用を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒のワークシートや授業の発言・活動などから、評価を行う。 目標と指導と評価の一体化による授業作りを行う。 育てようとする能力や資質及び態度について成長したことを文章で書く。

各教科との関連
 ・道徳や言語・数理運用科、特別活動、各教科と有機的に関連づけながら、教科横断的に進めていく

地域との連携
 ・地域企業の方を講師とするマナーに関わる講座を実施する
 ・地域の職場で体験学習を行う
 ・地域の小学校との交流や高等学校のオープンスクールへの参加をする
 ・地域の方をゲストティーチャーとして招く